ほくりく 経済 政治 総合

運転手確保 あの手この手

「スイーツ付き」説明会 働きやすさ「三つ星」

金沢 タクシー各社

新型コロナウイルス禍からの需要の急回復や時間外労働の上限が見直された「2024年問題」の影響で運転手不足に直面している金沢市内のタクシー会社が人材確保に苦心している。求職者を呼び込むため、ホテルでスイーツが楽しめる会社説明会を開いたり、運転手の健康管理に力を入れたり。市内で6月から本格的に始まった「日本版ライドシェア」も人材登用につなげたい思いがある。（中平雄大）

7月下旬の午後、JR金沢駅近くのホテルの宴会場で、石川交通の会社説明会が開かれた。観光ガイドの資格を持つベテランの現役運転手が金沢の歴史文化の話や仕事の魅力などを紹介。参加した30～70代の男女14人は県産高級ブドウ「ルビーロマン」のゼリーなどを味わいながら聞き入り、和やかな雰囲気の中で盛んに質問していた。

同社はコロナ禍に全体の3割に当たる100人以上の運転手が離職し、需要の回復に採用が追いついていない。約200人の運転手の平均年齢は64・5歳と高く、今後の自然減も懸念される。そこで1年後に運転手の数をコロナ禍前の水準に戻すことを目指す「100人採用計画」を6月から開始。専属の採用担当者を置き、求人広告などに前年の10倍の予算をかける。

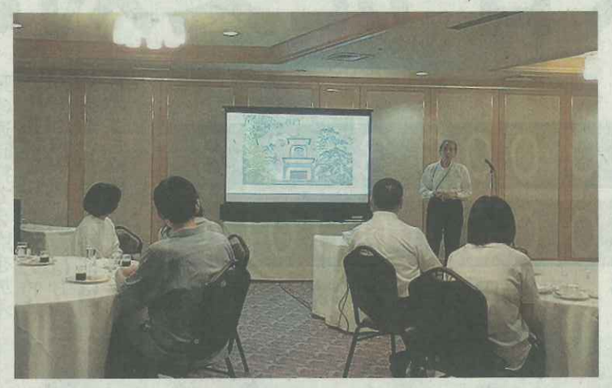
東寿弘社長は「これまで配車の電話をいただいてもお断りすることが多かった。交通弱者の足を確保するには今までの受け身の採用活動ではなく、前へ出て行く必要がある」と覚悟を示す。ホテルでの説明会は11月にも開催する予定。

オリエンタルは3月、運転手を大切にする会社であることをアピールするため、国土交通省が創設した「働きやすい職場認証制度」で最高位の「三つ星」を県内の事業者で初めて獲得した。健康管理のため毎朝の血圧測定を義務付けるなど、法令を上回る労働条件や労働環境改善の取り組みが評価された。このほか、数カ月に1回だった会社説明会の開催を月数回に増やした。今後は交流サイト（SNS）やホームページでの採用情報の発信を強化し、求職者との接点拡大を図る。担当者は「少しずつ採用はできている。何とかコロナ前の水準に戻したい」と意気込む。

石川近鉄タクシーは二種免許の取得費を全額負担するほか、免許取得中も日給8千円を支給。さらに入社祝い金として5万円を進呈する。採用は順調で、既にコロナ前を上回る約140人の運転手を確保できた。ただ、女性や若い世代の確保が課題という。

全国ハイヤー・タクシー連合会によると、全国60地域の法人タクシー乗務員数は昨年6月末時点で、23万2902人でコロナ禍前から約2割減った。

金沢市内では、タクシー会社の管理下で一般ドライバーが自家用車で乗客を送迎する有料サービス「日本版ライドシェア」が始まり、7月までに6社が参入している。一義的には観光地や都市部のタクシー不足を補う取り組みだが、金沢のタクシー各社はライドシェアで接点を持った一般ドライバーを登用したい思惑もある。石川交通の東社長は「急場をしのぐ策ではあるが、いずれは正社員として働いてもらうきっかけにもなれば」と期待する。



上 石川交通の会社説明会でスイーツを味わいながらベテラン運転手の話を聞く参加者＝金沢市で（同社提供）
下 金沢市内でも本格的に始まった「ライドシェア」。人材確保の面でも期待される

ライドシェアからの登用も期待

北陸銀 金利上げ

住宅ローンや定期預金

北陸銀行（富山市）は8日、日銀の追加利上げを踏まえ、住宅ローンの変動金利や法人向けの貸出金利を9月2日から0・15%引き上げると発表した。引き上げは2007年以来、17年ぶり。同行の住宅ローン契約者の大半を占める固定金利を見直すかは未定としている。

住宅ローン金利や貸出金利の指標となる短期プライムレート（短プラ）を従来の2・175%から0・15%上昇の2・325%とするため。

併せて、定期預金の金利を8月23日から引き上げることも発表。7年ものを0・25%から0・275%に、10年ものを0・3%から0・35%に改定する。

北陸の地銀では、北国銀行（金沢市）も10月から、短プラの引き上げにより住宅ローンの変動金利を引き上げると発表している。（高本容平）

福井銀、福邦銀は普通預金金利上げ

福井銀行（福井市）と福邦銀行（同）は8日、日銀が追加利上げを決めたことを受け、普通預金の金利を0・02%から0・1%に引き上げると発表した。両行ともに9月2日から適用する。預金金利は2008年以来の水準となる。

両行は4月にも、日銀のマイナス金利政策の解除に伴い普通預金の金利を0・001%から0・02%に引き上げていた。今後は定期預金の金利についても引き上げを予定している。

マイナス金利解除時に据え置いていた住宅ローンの変動金利の引き上げに関しては、市場金利を見ながら検討するとしている。（山本洋児）

販路拡大後押し 掲載倍増

日本公庫「石川県応援カタログ」

日本政策金融公庫（日本公庫）は、能登半島地震で被災した石川県内の事業者の販路拡大を後押ししようと、「石川県応援カタログ」の第2弾を発行した。取引先13社の商品やサービスを多くの写真を交えて紹介。全国の日本公庫の支店で配るほか、公庫のホームページにも掲載している。

掲載したのは、輪島塗製造販売の「大藤漆器店」（輪島市）、乳製品加工販売の「能登ミルク」（七尾市）、日本酒「池月」の蔵元「鳥屋酒造」（中能登町）、精肉店「中谷肉店」（金沢市）、九谷焼専門店「九谷満月」（加賀市）など。事業者の歴史や、経営者の思いなども伝えている。各社のホームページにつながるQRコードも付けた。

応援カタログは資金繰り以外の支援にも力を入れようと、5月に第1弾を発行。第2弾では、掲載社数を前回の5社から倍以上に増やした。（高本容平）

「石川県応援カタログ」第2弾の1ページ

志賀原発1号機 変圧器復旧完了

北陸電力（富山市）は8日、能登半島地震で被災した志賀原発1号機（石川県志賀町）の変圧器の本格復旧が完了したと発表した。変圧器の熱を逃がす放熱器が地震で損傷したが、取り換え、能登半島地震と同程度の地震が起きても故障し

バス 京福 5路線

福井県内のバス事業者や県、市町などによる会合が7日、福井市内であり、京福バス（福井市）と福井鉄道（越前市）の10月以降の路線見直しの協議結果がまとまった。京福バスは現行45路線のうち5路線を廃止、15路線を減便。福井鉄道は現行16路線のうち「福浦線」（福井市―越前町）を廃止する。

会合では、深刻な運転手不足で路線維持が困難になっている両社が6月に示した見直し計画を協議した。

京福バスは8路線を廃止、13路線を減便する意向だったが、県や市町との協議により廃止、減便の路線を減らした。

福井鉄道は福浦線を廃止し、「鯖浦線」（鯖江市―越前町）の経路見直しや鉄道の福武線の増便を行う。来年4月以降に6路線の見直しを検討していることも明らかにした。

県と市町が一体となり、